※令和４年度以降入学生用

学校番号	301

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	最新　生活ハンドブック　2023　資料&成分表（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に興味関心をもち積極的に取り組もう。
・生活上の様々な現象や課題について、グループワークやペアワーク、実習等を通して理解を深め、課題解決に向かうための知識を身につけましょう。
・多様な考え方を学び、自らの意見をまとめて発表できる力をつけましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技能を身につけましょう。
・グループで協力し合うこと、コミュニケーションを充分取り合うことを意識して、よりよい成果や表現ができることを体験的に学んでいきましょう。
〇家庭科で学んだことを実生活に役立て、自分自身の将来の生活設計につなげよう。
・自分の生活課題を客観的に捉え、将来を展望し、充実した生活の実現をめざしましょう。
・よりよい社会を実現するために必要な行動を考え、実践できる能力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

生活の営みにおける見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

a.　知識・技能

人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的知識を理解するとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

b.　思考・判断・表現

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う

c.　主体的に学習に取り組む態度

様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生涯を見通す・人生をつくる	○生涯発達の視点 ○青年期の課題 ○家族・家庭とその機能 ○これからの家庭生活と社会	a:生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めることができる。 b:家族や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を築くことについて課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，青年期の自立について課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ルーブリック評価

※令和４年度以降入学生用

前期	住生活をつくる	○住生活について考える ○平面図に動線を描く ○住生活の計画と選択 ⇒防災実習 ○これからの住生活	a: 住居の機能、住環境などについて科学的に理解しているとともに、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な技能を身に付けている。 b: 住生活全般について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ルーブリック評価
	衣生活をつくる	○被服の役割を考える ○被服を入手する ○被服材料の性能 ⇒界面活性剤の実習 ○これからの衣生活 ⇒被服実習	a:被服の機能、被服材料、被服管理などについて科学的に理解し、衣生活を主体的に営むために必要な技能を身に付けている。 b:被服管理と計画、衣生活全般について、問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:健康で快適な衣生活、ライフスタイルと被服、衣生活全般に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ルーブリック評価

※令和４年度以降入学生用

後期	食生活をつくる	○食生活の変化・栄養 ○食生活の安全と衛生 ○生涯の健康を見通した食事計画 ○調理の基礎とこれからの食生活 ⇒調理実習 ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	a：食生活全般について体験的な学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な技能を身に付けている。また、ホームプロジェクトの実践に必要な知識と技能を身に付けている。 b：食生活全般について、問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c：健康的な食生活、ライフスタイルと環境およびホームプロジェクトに関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ルーブリック評価
	経済生活を営む・持続可能な生活を営む	○職業生活を設計する・計画的に使う ○国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ○消費者の権利と責任・環境 ○持続可能な社会を目指して	a：将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識と技能を身に付けている。 b：消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c： 消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ルーブリック評価

※令和４年度以降入学生用

後期	子どもと共に育つ	○子どもの育つ力を知る ○子どもの発達と保育 ⇒保育人形実習 ○親として共に育つ	a：子どもの発達と保育について、家族・地域・社会の果たす役割を理解し、基本的な技能を身に付けている。 b：保育の現状について、社会や地域の生活から課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c：子どもの発達、親としての保育や子育て環境について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ルーブリック評価
	超高齢社会を共に生きる・共に生き共に支える	○高齢期を理解する ○高齢者の心身の特徴 ⇒シニア体験実習 ○私たちの生活と福祉 ○社会保障の考え方	a：生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、高齢社会の課題と福祉などについて理解し、高齢者とかかわるための基本的な技能を身に付けている。 b：高齢社会について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c：家族・家庭の意義や役割、男女の協力、高齢者の生活について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート レポート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ルーブリック評価

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度